

会議資料の一部訂正について

「第3回三豊市総合計画審議会」の資料の中に、一部誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

○訂正箇所 1

「資料2 前期基本計画・評価報告書」

75ページの「3-2-1.疾病の発症・重症化予防」の具体的な取組み「3 重症化対策の充実」の実施内容及び評価理由。

【誤】

(実施内容)

- ・健診実施後に、HbA1cの異常値や治療中断者等には全員、受診勧奨を実施
- ・慢性腎臓病への進行を防ぐため、eGFRと尿蛋白の値により指導が必要な者を抽出し、受診勧奨や個別での保健指導・講演会を実施

(評価理由)

- ・糖尿病と慢性腎臓病の疑いがある人へ受診勧奨を行ったことにより、6割程度が受診した。

【正】

(実施内容)

- ・健診実施後に、HbA1cの異常値や糖尿病の治療中断者等には全員、受診勧奨を実施
- ・慢性腎臓病への進行を防ぐため、eGFRと尿蛋白の値により指導が必要な者を抽出し、受診勧奨や個別での保健指導・講演会を実施

(評価理由)

- ・糖尿病と慢性腎臓病の疑いがある人へ受診勧奨を行った人のうち、6割程度が受診した。

○訂正箇所2

「資料2 前期基本計画・評価報告書」

- ・107ページの「2-1.行政財産の適正管理」の具体的な取組み「2 公共施設の再配置と利活用及び適正管理」の評価理由及び積み残し課題。
- ・124ページのまちづくり指標点検表「145 公有財産（建物）の延床面積」の実績値。

【誤】

（評価理由）

- ・売却等進めることで、その後の維持管理経費や、建物付きで売却することで、将来的な解体費用の削減にも寄与したため。公有財産管理審査会の開催や、固定資産台帳の整備等により情報共有を図った。

（積み残し課題）

- ・公有財産の売払いについて、金融機関等へのニーズ調査等実施し、1者でも多くの入札参加を促す必要がある。用途を同じくする公共施設は多数存在する。また、個々の施設における存続、廃止、集約化など方針決定を行い、将来的に維持存続が可能な公共施設の適正規模について検討していく必要がある。

（まちづくり指標点検表）

指標名	単位	基準値		実績(年度)				目標値 (2023年度)
		年度	数値	2019	2020	2021	2022	
公有財産(建物)の延床面積	m ²	2017	395,745	395,315	382,978	378,804	375,516	370,457

【正】

（評価理由）

- ・未利用施設を建物付きで売却することで、維持管理経費や将来的な解体費用の削減がはかれた。また、公有財産管理審査会を定期的に開催し、庁内における公共施設再配置に対する考え方の統一化がはかれた。

（積み残し課題）

- ・売却に際して、金融機関へのニーズ調査を実施するなど1者でも多くの入札参加を促す必要がある。
- ・用途を同じくする公共施設が多数存在する。
- ・公有財産管理審査会において、個々の施設における存続、廃止、集約化等の方針決定を行い、将来的に維持存続が必要な公共施設の適正規模について検討していく必要がある。

（まちづくり指標点検表）

指標名	単位	基準値		実績(年度)				目標値 (2023年度)
		年度	数値	2019	2020	2021	2022	
公有財産(建物)の延床面積	m ²	2017	395,745	395,315	393,090	388,982	392,115	370,457